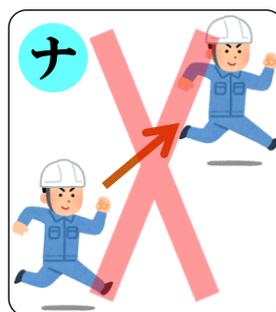


# 構内歩行の基本は【ポケテナシ】

【ポケテナシ】とは作業現場構内を安全に歩くための代表的な行動5つの頭文字を取った標語で、トヨタグループの活動として知られています。構内を歩行中にケガを負わないよう、【ポケテナシ】について理解を深めていきましょう。

## ●ポケテナシの意味

<b>ポ</b>	ポケットに手を入れて歩かない	ポケットに手を入れながら歩くと、転倒してケガを負う危険があります。とっさに手を出せずに頭を強打するなど、重症を負う可能性が高くなります。
<b>ケ</b>	携帯電話・スマホを歩きながら使わない	携帯電話やスマホを使用しながら歩くと、会話や画面に集中して周囲に対する注意力が低下し、人や物にぶつかってケガを負う危険があります。
<b>テ</b>	手すりを使って階段を昇り降りする	手すりを使わずに階段を利用すると、階段から足を踏み外した時にケガを負う危険があります。階段へ頭を強打して重症を負う可能性が高くなります。
<b>ナ</b>	斜めに通路を横断しない	斜めに通路を横断すると、同じ通路を利用する別の人が避けられず、ぶつかってケガを負う危険があります。
<b>シ</b>	しっかり止まり左右を確認（指差呼称）	定められた場所や横断できる場所で左右を確認します。周囲に人や物が見えなくても、「左ヨシ!」「右ヨシ!」と指差呼称をします。



いつも気をつけていても、うっかりポケテナシを忘れてしまうことがあります。4つの代表的な例を参考に、自分自身が当てはまる状況について考えてみましょう。

## ●ポケテナシを忘れやすい状況

- 1.連休明け・長期休暇明け：休暇中は現場と異なる環境で過ごすため、休暇明けに忘れることがある。
- 2.疲労・体調不良：寝不足や疲労、体調不良や病気からの復帰時は、注意力が低下し忘れることがある。
- 3.精神状態の変化：悩みや考えごとなどの精神的な負担や、急なトラブルなどによる焦りから忘れることがある。
- 4.作業の変化：新しいことを覚える時は、覚えることに気を取られやすいため、忘れることがある。

ポケテナシを意識に留めたり記憶を呼び覚ますために、朝礼等で実際に声に出して唱和する作業現場もあります。唱和する時に手すりを持つポーズをとるなど、ポケテナシを表す動きを加えることも意識の定着を高める効果があります。

構内を歩く時は、【ポケテナシ】を忘れずに